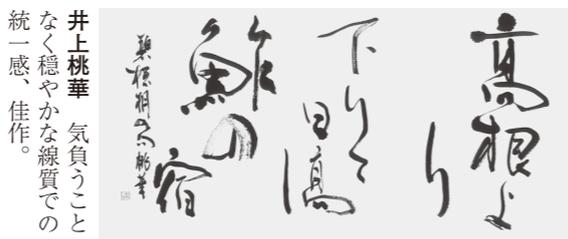


- 出品資格：一般および高校生。●用紙サイズ：A課題は半切縦か角半。B課題は半切1/2、縦横自由。
- A・B課題は同時出品可能。同時出品の場合は出品券の下部にA・Bを明記すること。
- 条幅出品券を作品の右下に必ず貼付すること。(作品の裏右下には鉛筆で段位と氏名も忘れず記入)

〈B課題の部〉



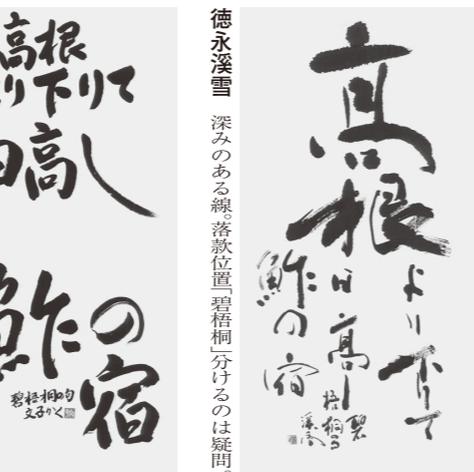
井上桃華 気負うことなく穏やかな線質での統一感、佳作。



大島恭子 行間整え、品位ある作。



中村華峰 鮎の宿の大きさキラリと光る。



徳永溪雪 深みのある線落款位置、碧梧桐に分けるのは疑問。



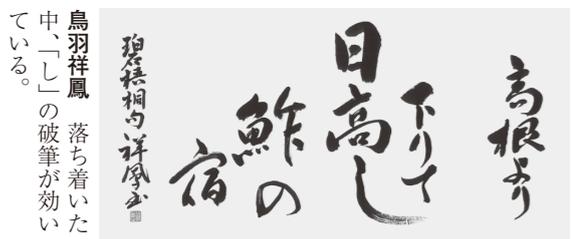
赤羽文子 横への流れを意識し伸び伸び書けた。



上田真翠 闊達な動きで伸びやか。細線一考。



森川珠房 潤濁の変化により自然な流れで書けた。



鳥羽祥鳳 落ち着いた中、「し」の破筆が効いている。



川西勉 横画を生かした木簡調の意欲作。「鮎」のつくり部分一考。



松本朋子 終始一貫、リズムを整えて書けた。

〈A課題の部〉



寺尾照華 虹の橋を見せ場に、2ブロックもバランス良くまとめた。



吉田純真 淡墨で優しく表現。雲の冠、隣りの雨との違いを工夫したい。

優秀作品

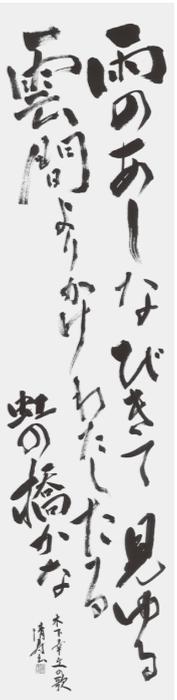
- A 昼ながら幽かに光る螢一つ (北原白秋 歌)
- B 濁り江の泡に皺よる暑かな (高井几童 句)

先日、大阪・関西万博、書のイベントで高校生のダイナミックな書道パフォーマンスを見る機会がありました。「墨」「縁」「手から手へ」「時を超え未来へ繋ぐ」など、音楽に乗せ思いを筆に託し皆で書き上げていく姿に感動しました。書道という伝統文化に携わっている私は、次の世代に書の魅力を伝えていく努力をしているのかと、高校生のエネルギー溢れる姿から改めて考えさせられました。八月には水明書展が京都市京セラ美術館で開催され、今まさに作品作りに励んでおられると思います。魅力ある作品に出会えることを楽しみにしています。

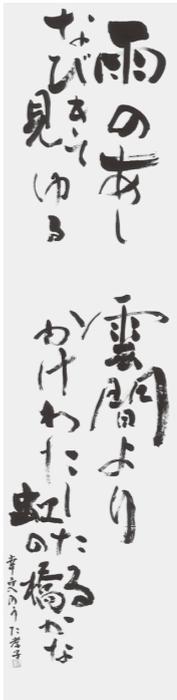
現代書部 次号課題



庄司美峰 流れを意識しつつ、3ブロックがうまく響きあっている。



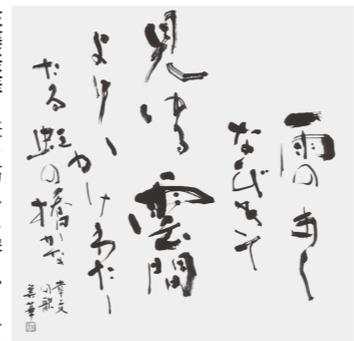
中村清寿 文字の大小、潤濁を意識し主張ある作。



田中孝子 真面目に向き合う姿勢が伝わってくる。



今井清翠 虹を甲骨文字で表現。お洒落で楽しい作となった。



佐藤美華 筆を巧みに操り、リズムを奏でている作。